

株式会社 アルシュ arche

arche Journal

アルシュ ジャーナル

住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報を まとめてお届けします！！

目次：

100年先も愛される？！ ～デザイナーズ〇〇～	1
残したい日本の宝 昭和レトロな硝子たち	2
快適なベッドルームの 作り方	2
防火セイフティーマーク ってご存知ですか？	3
古式ゆかしい防火壁 税（うだつ）	3
セキュリティ完備の 家に暮らす？ アナホリフクロウの家	3
アルシュのリフォーム 施工事例をご紹介！！ ～吹田市 様邸～	4

今年は梅雨明けも早く、長い夏になりそうです。

“夏の風物詩”と言えば、花火！！日本で一番花火大会の開催数が多い都道府県は、北海道のようです。開催回数はなんと…100を超えるそう！広いから当たり前なのか？花火大会って北の方に多いですね。日本三大花火大会のうち2つは、秋田県・新潟県と東北。実は、関西は他の地域と比べると、花火大会の数が少ないみたいです。特に大阪は開催数が少ない…。でも1回の打ち上げ数がとにかく多い！PLの花火大会や淀川花火大会も、かなりの数が打ち上がりますよね。でも、なんだかんだと言っても、やっぱりそこは地元愛（？）自分たちが住んでいる地域の花火大会が1番だと思ってしまうものなのでしょうね（^^）



* アルシュの窓 *



こちら、夏の風物詩！アルシュのアサガオもすくすく成長中～！ツルもこんなに伸びました。カーテンになるには、まだ時間がかかりそうですが、そろそろ花を咲かせてくれそうな予感…♪です。

100年先も愛される？！～デザイナーズ〇〇～

竈門神社の授与所内



ミュージアムショップのようで
神社の中とは思えない雰囲気！

<http://prefab.jp/post/502>

デザイナーズ〇〇と言えば・・・？！

「デザイナーズマンション」なんて当たり前。最近では、『デザイナーズ神社』なるものが出現しているようなのです！

日本人にとって古来から、信仰の場である神社。古い木造建築を思い浮かべる方も多いと思います。しかし、最近では、今までの常識を覆すようなモダンな神社建築などが、増えてきているそうです。

今年、注目を集めているのが、福岡県の太宰府市にある、“竈門（かまど）神社”。別名：宝満宮と呼ばれ、縁結びの神様とし

て親しまれています。今年、1350年大祭を迎えるのを機に、「100年後も愛される神社」をコンセプトに昨年末、社務所をリニューアル。授与所の内装には、ユニクロのNY店や、銀座店の店舗デザインなどを手掛けた片山正通氏が協力していることでも話題になっています。もちろん古いものは良いものだとも守ることも大切です。でも、時には、新しい発想を取り入れてみるのも素敵なことですよ。斬新なデザインに触れてみると、改めて、伝統的なものの美しさを、実感できるかもしれません。

残したい日本の宝 昭和レトロな硝子たち

ハイウェイ・夜空・銀河・古都・野道・千草・菊・・・。

これらは、あるものの名前なのですが、わかりますか？

実は、これらは全て“ガラス”の名前なのです。

昭和期の住宅で多用されていた、**型板ガラス**。数多くあった素敵な模様のガラスたちですが、現在では、ほとんど目にすることはありません。最近では、「型板ガラスって？」と思う人の方が多いかもかもしれません。型板ガラスとは、表面に凹凸をつけて模様を付けたガラスのことで、視界を遮る効果があります。昭和期、型板ガラスが多用されていた時代は、メーカー間の競争が激しく、多くの種類が生産されていました。しかし、現在は、ほとんどのものが生産中止となり、「霞（かすみ）」を残すのみ。その他の模様の型板ガラスは、現在は古い住宅に残っているものや、骨董屋などにあるものだけになっています…。

市場に残っているのは大変少なく貴重なガラスたちです。

今までにご紹介してきた和の部材たちのように、この型板ガラスもじわじわと人気が出てきているようです。もちろん、現在流通しているガラスたちと比べると、機能性は劣ります。防犯性・強度・耐風圧などなど…十分な配慮が必要になります。それでも、現代の機能性の高いガラスにも負けない魅力を持っているのです。デザインやネーミングも遊び心があって、とても素敵！！“昭和”という時代だったからこそ、生み出されたものなのでしょうね。模様を見ているだけでも、なんだか楽しくなりました。現在では、窓ではなく内装ドアに使われます。防犯上良くなかったり、骨董屋やガラス店にも、小さいサイズのものしか残っていないことも理由のひとつです。

「そういえば実家には、まだ残ってたな～」なんて方は是非！大切にしておいてあげて欲しいものです。

日本国内では、板ガラスメーカー大手3社（旭硝子・セントラル硝子・日本板硝子）が様々な硝子を出し、競い合いました。



ハイウェイ

野道

銀河

夜空

古都

千草

菊

快適なベッドルームのつくり方

熱帯夜が続き毎日寝苦しいですね。暑さで目が覚めて、睡眠不足という方も多いのでは……。夏の疲れを取るには、心地よい睡眠は絶対条件！！では、快適なベッドルームとは、どのようなものでしょう。

「部屋をできるだけ広く使いたい」という気持ちから壁や窓際にベッドサイドをぴったりとくっつけていませんか？これでは、壁や窓からの外気熱の影響が大きく、部屋の温度以上に暑さを感じてしまいます。また、動作のための空間も確保されていないのでベッドメイキングがしづらく、掃除もおさなりに……。壁とベッドの間がホコリだらけになってことになりかねません。ベッドの配置でおすすめなのが、両サイドと足元の3方向にスペースを設けること。この配置だと外気熱の影響を受けにくく、ベッドメイキングや掃除もしやすいので健康的な睡眠環境を作ることができるでしょう。スペースは動線が確保される60cm以上が理想的！もし、部屋や家具の大きさをどうしても壁際に置くしかないとい

う場合には、少なくとも10cm程度は離しておきましょう。それだけあれば、掃除もでき、掛け布団を垂らすこともできるので、布団がズリ落ちるのを防止できます。照明の使い方も快適な睡眠には大切なことです。眠る前の時間を少し暗めの空間で過ごすことで、ぐっすりとするための体の準備ができるといいます。部屋全体を明るく照らすのではなく、明るい部分と暗い部分をつくるのです。例えば、ベッドの両サイドに白熱灯のスタンドを配置する。眠る前は、天井の照明を消して、スタンドの明かりだけで過ごす。それだけでリラックスできる空間になります。読書が趣味という方は、クリップライトなどいかがですか？手元だけを照らすことができるので、パートナーの眠りを邪魔することなく読書ができますよね。それだけでは、チョット暗すぎると思う方は、部屋のコーナーや足元などに照明を追加してみたいはいかがですか？快適な睡眠環境で、夏の疲れを吹き飛ばしましょう！



海外デザインブログFreshhomeで、オシャレで快適なベッドルームのインテリアデザインが公開されています。参考にしてみたいはいかがですか？

<http://freshome.com/2011/06/10/30-contemporary-bedrooms-that-will-rock-your-world/>

～キャンドルで癒し効果～



キャンドルの灯りは人をリラックスさせてくれる効果があります。就寝前に電気を消してキャンドルの灯りを眺めてみては(*^_^*)

防火セーフティマークってご存知ですか？

8月といえば、夏休みやお盆を利用して、いろいろな所へ遊びに行くことがあるのではないのでしょうか？そんな楽しい場所で、もし火災が起こったら・・・

総務省消防庁では、ホテルやデパート、映画館など、一定の条件を満たしている施設に、防火対策の点検を行うことを義務付けています。その結果を消防署へ報告し、基準に適合している施設には、「防火基準点検済証」が交付されます。また、3年間違反の無い施設には、「防火優良認定証」が交付されます。しかし、現行の対象施設は不特定多数が利用する300人以上の収容施設。小規模な施設は対象になっていない

のです。（一部対象内）そこで、来秋から収容人員30人以上の宿泊施設などを対象とした「マル適マーク」が導入されます。これは、現行の消防法上の防火基準だけでなく防火戸や耐火構造への配慮など、建築基準法の防火基準も、点検項目に含まれます。私たち利用者にとって、より安全な基準になると言えますよね。

しかし、これらのマークがある施設だからといって、安心してはいけません。せっかくの計画を楽しむためにも自分の目で、非常口や避難経路の確認は忘れなく！

《参考》日本消防設備安全センター
<http://www.fesc.or.jp/i/hanzesei/>

防火セーフティマーク（現行）



来秋より導入される
 防火基準適合証
 「マル適マーク」

古式ゆかしい防火壁 “柵”（うだつ）



“うだつの上がる町並み”
 岐阜県美濃市は、美濃和紙も有名。
<http://www.minokanko.com/>

“うだつが上がらない”という言葉。あまり良いイメージではありませんよね。実はこの言葉、平安時代以降の日本家屋に取り付けられた防火壁「柵（うだつ）」が語源となっているのです。

町家が隣合い連続で建てられている場合、隣家の火事の火が燃え移るのを防ぐために屋根の両端を一段高くなっていました。この部分に取り付けられていたのが、うだつです。しかし、当時うだつを上げるには、それなりの費用がかかり、比較的裕福な家に限られたものだったそうです。後に、も

ともとの防火壁の役目より、家の装飾としての意味合いが強くなってきました。財力のある家ほど手の込んだ美しいものを取り付けるようになり、そうでない家は“うだつが上がられない家”と言われるようになったそうです。

現代の住まいには、うだつが作られることはありませんが、昔ながらの町家“うだつの上がる町並み”を保存している市などが数箇所あります。日本古来の防火壁「うだつ」を見に、それらの街を訪れるのも良いかもしれませんね。

セキュリティ完備の家に暮らす？ アナホリフクロウの家

日々変化していく私たちの住宅事情。もちろん動物たちの世界にも、様々な住宅事情があるようです…。

北アメリカ中央部に位置する、温帯草原地帯プレーリー。ここには、とってもちゃっかり者の動物が住んでいます。その名も、**アナホリフクロウ**！！彼らは、プレーリードッグが引っ越した後の巣穴に住みつきま

す。名前に穴掘りと付くくせに、自分で穴を掘り巣を作ることは、ほとんどありません。住み始めると、自分好みにリフォームしたりするようですが・・・。

人間界でも最近流行りの“中古購入→リノベーション・リフォーム”みたいな感じで

しょうか？ アナホリフクロウが、プレーリードッグの古巣に住みつくと1番のメリットは、セキュリティ面。元々、プレーリードッグが住んでいたので、まわりには他のプレーリードッグがたくさん暮らしています。プレーリードッグの群れには見張り役がいて、外敵の襲来を大声で知らせてくれるのです。（プレーリードッグの敵はアナホリフクロウにも天敵！）自分たちは何の苦勞もなく外敵の襲来に、対応できます。プレーリードッグの古巣に住めば、自動的にセキュリティ完備の家に住めるというわけなのです。うーん。なんてちゃっかり。動物の世界でも、防犯設備は重要ですね！

足が長いのが特徴

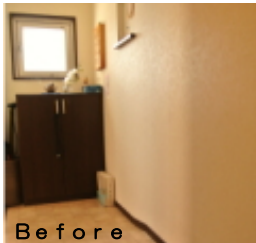


でも、プレーリードッグの子どもを食べちゃうらしいです…(;_ _)ひどい…。

アルシュのリフォーム施工事例をご紹介 ～吹田市I様邸～

今回は、介護保険を利用した手摺り取付工事をご紹介します。

玄関部分



Before

手摺の標準的な取付高さは75cm程度。利用する人がハッキリしている場合はその人に合わせた高さで取付けます。今回は奥様に立ち会って頂き、高さを調整しました。



After

キッチン袖壁部分



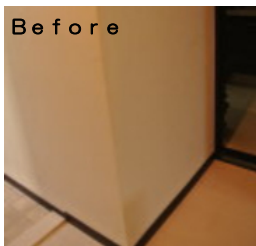
Before

高齢の方の転倒事故の発生場所は、リビングなどの居室が73%を占めて第1位。そこで、リビングへの動線には、キッチンの袖壁部分に横手摺りを設置しました。



After

玄関～廊下



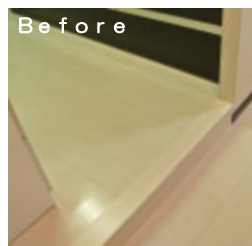
Before

玄関～廊下～洗面室まで手摺を繋げています。廊下などよく利用する動線上は、途切れることなく設置するのが原則！！段差部分の縦手摺で、高齢者以外の方も安心。



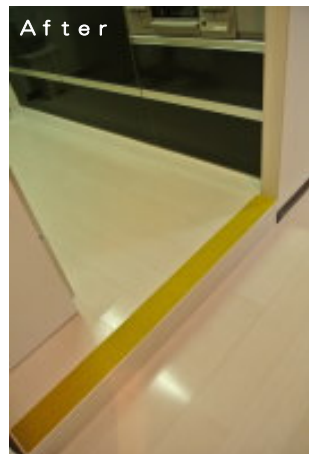
After

キッチン段差部分（滑り止めシート）



Before

玄関～廊下～洗面室まで手摺を繋げています。廊下などよく利用する動線上は、途切れることなく設置するのが原則！！段差部分の縦手摺で、高齢者以外の方も安心。



After

アルシュでは、介護保険を利用した住宅改修を承っております。お気軽にお問い合わせください。

～お客様の声～

Q：リフォームをして良かった点は？

A：安心感がえられました。

Q：「こうすれば良かったかも…」と思う点は？

A：今の所、現状に満足し、感謝しております。

Q：弊社に対するご感想は？

A：対応も感じよく誠意をもって

仕上げて下さったことに感謝です。

満足して頂けたようで、スタッフ一同大変嬉しく思っています♪

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を、募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力を、お願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でECOライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。

皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。

介護保険から住宅改修費の支給が受けられます！

※施工前に申請が必要です。

*吹田市の場合

介護保険で、要介護1～5と認定された方が対象で、住宅改修費用の9割が支給されます。（支給限度額20万円）

※詳しくは、各市町村担当窓口までお問い合わせください。

新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>